オーバーツーリズムの未然防止・抑制による
持続可能な観光推進事業

KGI・KPI設定の考え方

令和7年5月

オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業 事務局

地域一体型及び実証・個別型ともに計画申請上で整理するKGI・KPIは以下のポイントを参考に検討してください

KGI・KPIの設定に係るポイント

01 オーバーツーリズムとして未然防止・抑制すべき問題点を的確に捉える

- 地域の現状や抱える問題点を踏まえて、**すでに懸念として挙がっている、又は顕在化しているオーバーツーリズムの事象を的確に捉える**

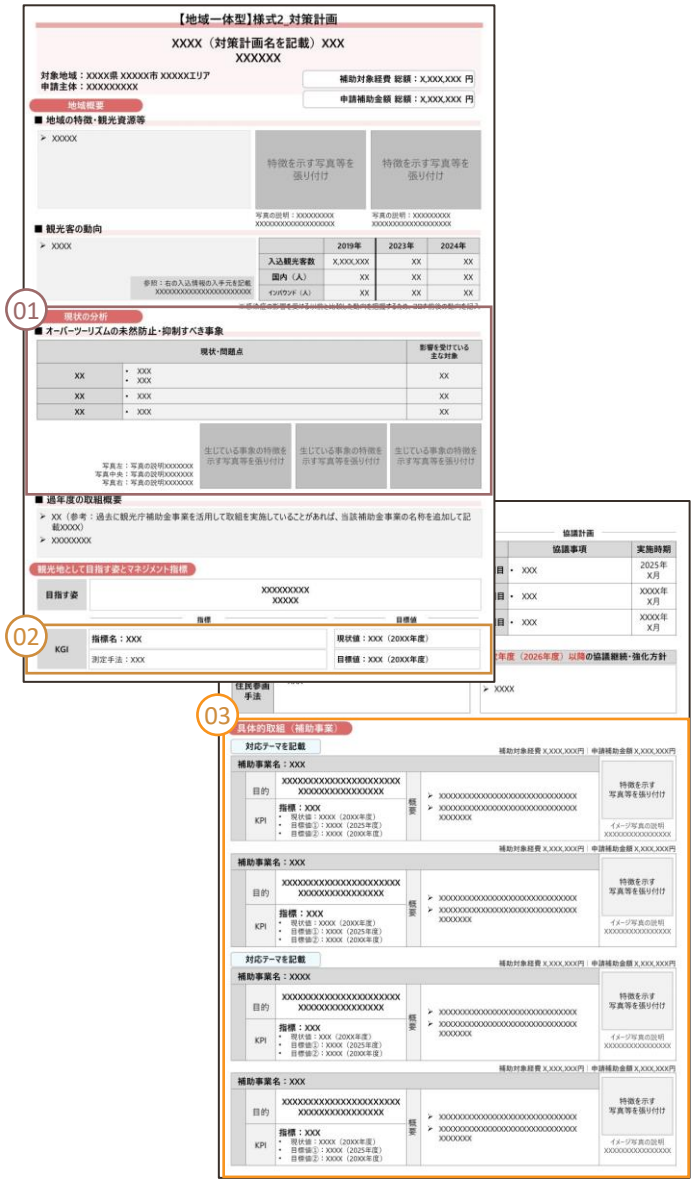
02 オーバーツーリズムが未然防止・抑制されたことを合理的かつ効果的に測る定量的な指標をKGIとして設定する

- 自地域が直面している**オーバーツーリズムの事象が未然防止・抑制されたことによる効果をKGIとして設定**
- 観光客の総合満足度や観光消費額といった指標は様々な要素で構成されているため、合理的とは言い難い側面がある
- なお、KGIの設定に際しては、現状値を有していなくても地域実情に即して最適な指標を設定することが肝要（※）

03 KPIは補助事業の成果を定量的に示す指標であり、KPIの達成によってKGIの達成に寄与することが明確な指標を設定する

- 補助事業の実施結果が**定量的に示され、必ず今年度の事業期間内で測定できる**指標をKPIとして設定する
- 指標の設定に際しては、**KPIとKGIの紐づき・関連性を整理し、KPIを達成することでKGIも達成に近づく指標となっているか**確認する
- なお、KPIの設定に際しても、KGIと同様に現状値を有していなくても事業内容を踏まえた最適な指標を設定することが肝要（※）。また、基本的には年度内に測定するKPIと中期的なKPIは同じ指標とすることが望ましい

※設定した指標の現状値を有さない場合は可能な限り今年度中に測定してもらう必要があります。なお、今年度中に測定するにあたっては、補助事業として組み込むことも可能です
やむを得ず、今年度内の対応が難しい場合は、次年度の取得方針・マネジメント計画を事業期間内で明確に検討する必要があります



上下：地域一体型の様式における対応箇所

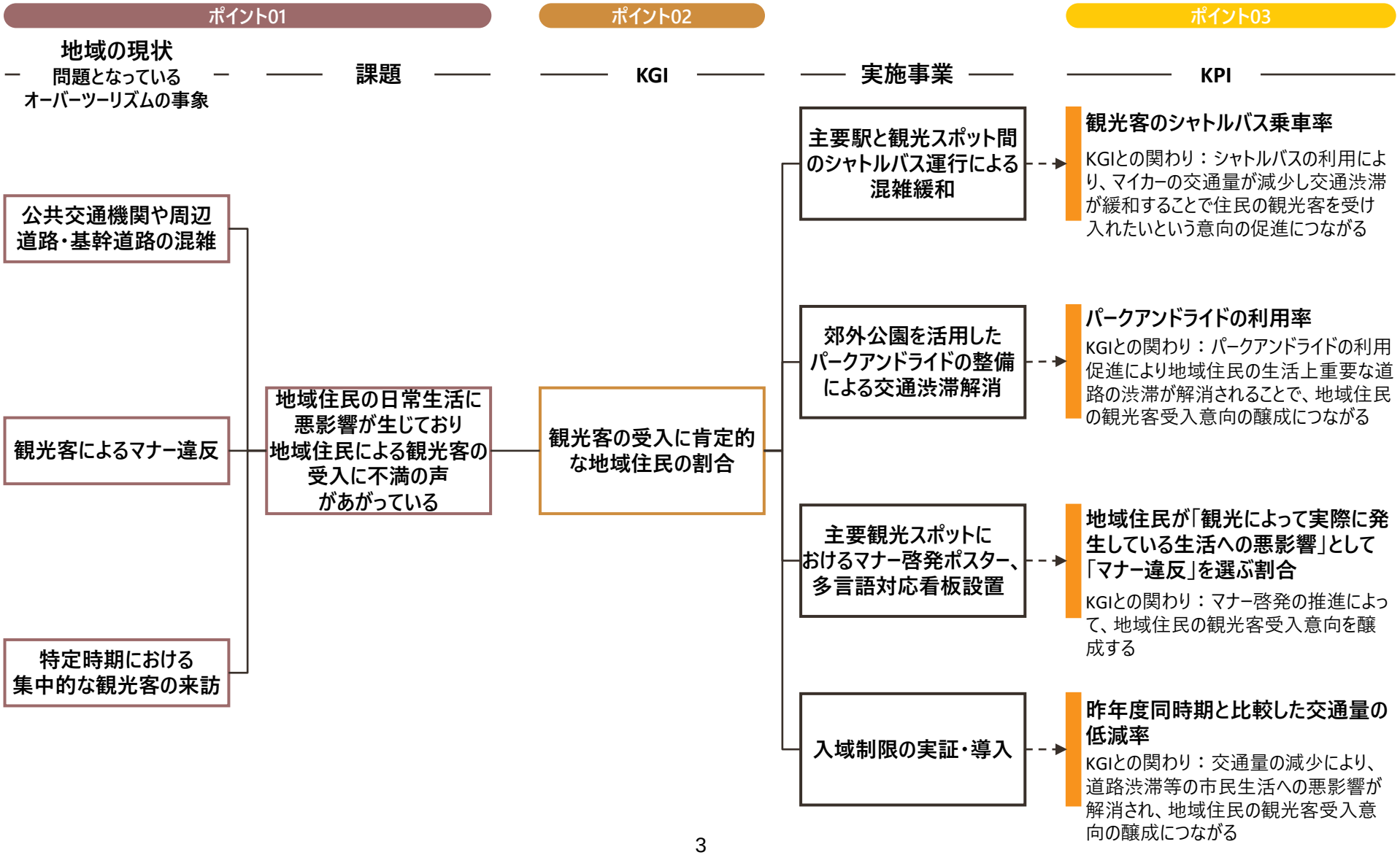
よくある質問と答えは下記の通りです

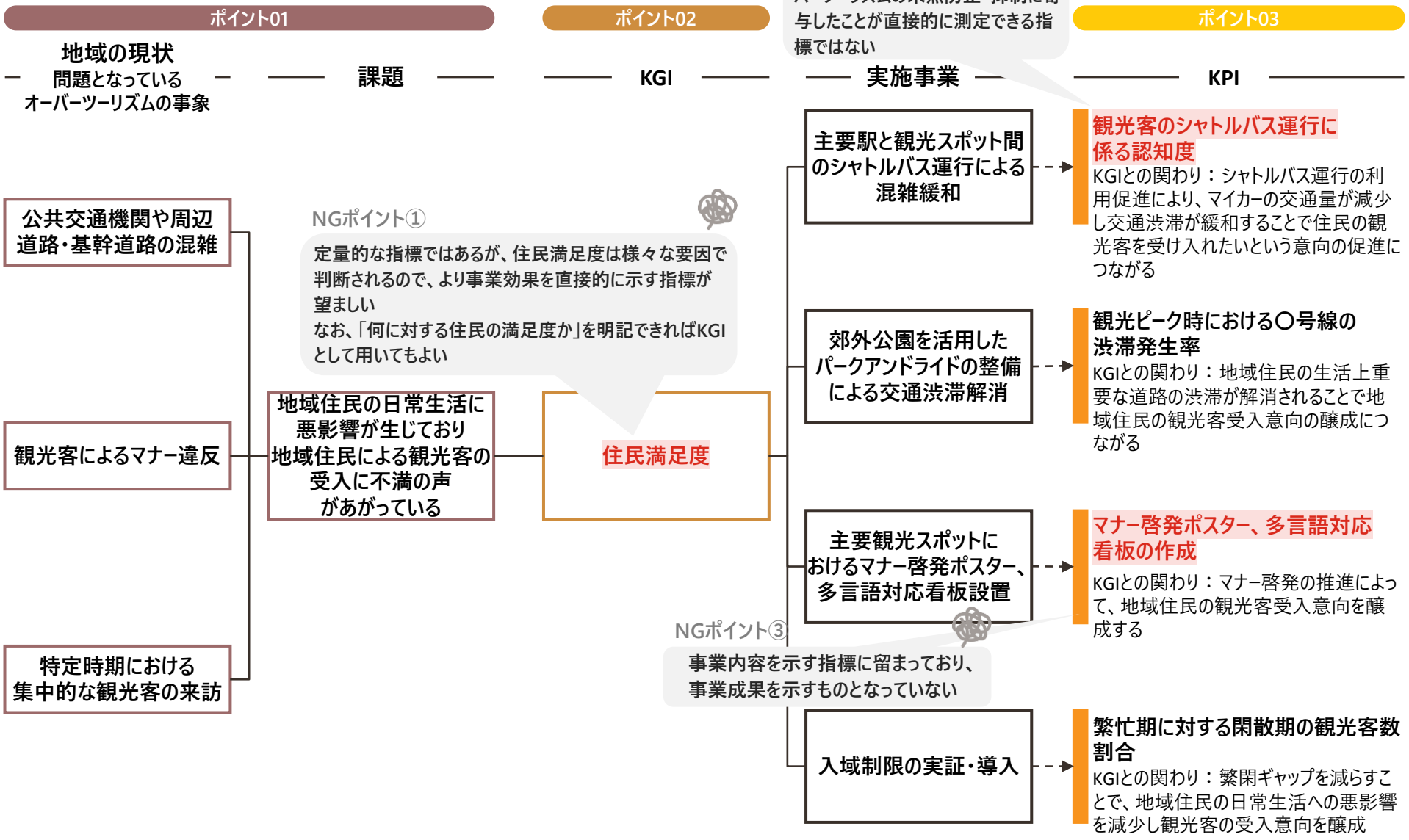
よくある質問

No	質問	回答
1	KPIは年度内の目標値及び中期的な目標値のいずれか一つのみの設定でも構わないか	補助事業単位で設定するKPIは年度内の目標値及び中期的な目標値の双方を設定することが必須となる
2	年度内の成果を測るKPIは、事業のアクション目標（バス会社のX社に、マナー違反映像の展開協力を頂く等）に該当するものでも問題ないか	成果を読み取ることが難しいため、原則として不可である 補助事業の実施成果として、確認できる指標をKPIとして設定してほしい なお、計画策定や調査等の事業においては、アクション目標の設定が認められる場合もある （例）展開前は、団体バスの利用者のマナーに対する理解度はX%※であったが、展開後はX%※になった等 ※年度内に対応できる測定可能な内容を検討すること
3	KPIが複数の補助事業で共通することは認められるか	補助事業間で共通のKPIとなる理由が合理的に説明できる場合は認められる場合がある

KGI・KPIの設定における良い例は以下の通りです

KGI・KPIの設定の流れ（良い例）



KGI・KPIの設定における悪い例とNGポイントは以下の通りです

KGI・KPIの設定の流れ（悪い例）